

ひとりでも、みんなでも、家族でも！
みちかな季節かんじ隊

今日見たツバメの帰り道を、
来年も残したい。
自然を想う気持ちは、
気づくことから始まる。
感じる事が、
守ることのいちばん手前にある。





まえばしの街が、まるごと観察フィールド！

みづかな季節かんじ隊 2026

みづかな季節かんじ隊って？

前橋市環境政策課が行っている、市民参加型の自然観察プログラムです。身近な場所で季節を感じる生き物（サクラ・ツバメ・セミ・ヒガンバナ）を観察して、自然環境への理解を深めよう！



2025年新規参加
手島さん

「まちのなかに、こんな気づきがあるなんて！」

今年初めて、こどもたちと一緒に近所の桜を観察。

「つばみがふくらんできたね！」

なんて話しながら、親子で季節の変化を楽しみました。

ただ綺麗だなと思っていた桜が、

毎日見ることでさらに美しく感じられ、

心まで豊かになった気がします。



観察テーマと時期

身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを基準にして決めています。

テーマ	主な調査内容	調査期間
サクラ	開花日、満開日	3月1日～4月23日
ツバメ	初見日、巣立ち	3月1日～8月24日
セミ	種類、初確認日	6月22日～10月11日
ヒガンバナ	開花日	8月開始予定

参加方法

インターネットから観察の記録に入力し、又は紙の調査票を前橋市環境政策課に提出してください。詳細は、本チラシ表面二次元コードの遷移先、前橋市ホームページから確認してください。

注意事項

- ・調査は、前橋市内で実施してください。
- ・調査に参加できるのは、小学生以上で、市内在住/在勤のかたです。
- ・調査中の事故や怪我等についての責任は負いかねます。十分ご注意の上、参加してください。

ミニコラム「どうして観察が必要なの？」

季節がめぐるたびに、花が咲いたり、鳥が帰ってきたり、虫の声が聞こえたり。そんな自然の変化は、いつも私たちのすぐそばにあります。でも、忙しい毎日の中で、つい見過ごしてしまいがちです。

「みづかな季節かんじ隊」は、そんな小さな変化に目を向けるきっかけづくり。ツバメが来た日、セミの声が聞こえた日——その“気づき”を記録することで、自然と人とのつながりを再発見できます。そしてそれは、地球温暖化や生き物の変化といった“いま”の自然環境を知る手がかりにも。未来の環境を守るために、まずは今日、身近な季節を感じてみませんか？



自然はどこにでも！



特別な場所でも



日常の中で観察できます。